

浅口市人口ビジョンと総合戦略の全体像

浅口市人口ビジョン

中長期展望 (2060年までを基本)

I. 人口の現状分析

○ 人口動向分析

- ・毎年200人超の自然減
- ・出生率は横ばい、出生数はさらに減りつつある傾向
- ・毎年100人超の社会減
- ・進学・就職などによる若者世代の転出が顕著

○ 将来人口推計・分析

- ・2060年趨勢人口 16,956人
- 高齢化率 42.5%
- ※社人研推計をもとに独自推計

II. 人口の将来展望

○ 将来の方向

- ・若者が「帰ってくる」まち
- ・若い世代の「希望がかなう」まち
- ・移住希望者に「選ばれる」まち
- ・岡山県南地域において「キラリと光る」まち
- ・人口減少時代を生き抜く「持続可能な」まち

○ 人口の将来展望

- ・2060年戦略人口 22,500人
(趨勢人口比 5,500人増)
- 高齢化率 35.3%

浅口市総合戦略(2019年度までの5か年)

基本目標

1 浅口市における安定した雇用を創出する

- ・倉敷市や福山市に近接している地理的好条件を最大限活かしつつ、産官学金連携のもと、商工業のイノベーション促進や創業・起業の支援を行い、地域の活性化と同時に、新たな雇用の創出を図る。
 - ・農業・漁業分野においても、製品のブランド化、6次産業化と担い手の育成を推進し、「儲かる農業」「儲かる漁業」の実現・拡大を図る。
 - ・産業全体の拡大・活性化を通じて、女性や高齢者がいきいきと活躍できる雇用環境の充実を図る。
- 数値目標: 市内民営事業所従業者数 9,518人

2 浅口市への新しいひとの流れをつくる

- ・市民が「住みよさ」を実感できるまちづくりを進めるとともに、まちへの誇りを持てる学習活動を推進し、雇用の確保とあわせて市民の転出を抑制し、また出身者の還流を図る。
 - ・住環境・子育て環境の整備とあわせて移住促進策を展開し、浅口市が持つ数々の強みとあわせた総合力で、近隣に就業している若い世代に選ばれるまちを目指す。
 - ・観光資源の発掘・ブラッシュアップや民間事業者との連携・融合、近隣との周遊性の向上を図るとともに、大都市圏への戦略的PRを実施し、更なる交流人口の増加を図る。
- 数値目標: 移動数(転入－転出) 0人

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・若者への安定した雇用の確保を基本とし、あわせて出会いの機会や場の創出などの婚活支援策を推進し、未婚化・晩婚化の解消を図る。
 - ・ハード・ソフトの両面において出産・子育てしやすい環境を整備し、結婚からの切れ目ない支援で出産・子育て世代の希望を実現させる。
- 数値目標: 合計特殊出生率 1.60

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・長期的な見通し・計画のもと、安心・安全な生活を営むための生活基盤の整備や維持を進める。
- ・防災・防犯等の地域自主組織の拡充や消防団の活性化を通じて、自助、共助、公助の再認識や地域のリーダーの育成を図り、地域コミュニティの変革・創生を促進する。
- ・地域交流、世代交流を促進し、市民の一体感を醸成するとともに、市民自らが地域への理解を深め、市民自らの行動による地域の自立・共生を支援する。

具体的な施策・主なKPI

(1) 就業の場の拡大

- ① 産業の担い手育成 (創業支援計画の策定)
- ② 産業間の連携 (農業参入企業数 3社)
- ③ 企業誘致の推進 (工業団地整備面積 8.0ha)
- ④ 情報発信の仕組み等の構築 (求人情報HPアクセス数)

(2) 産業の振興と生産性の向上

- ① 事業拡大等への経済的支援 (補助事業活用件数 20件)
- ② 産業の育成・強化 (「あさくちブランド」認定数 30個)

(1) 移住・定住の促進

- ① I・J・リターンに向けた情報提供の拡充 (移住・定住PSアクセス数 800件/月)
- ② 住まいの確保 (奨励金の活用で造成された宅地区画数 60区画)
- ③ 移動手段の確保 (浅口ふれあい号の利用者数 32,000人/年)
- ④ 「ふるさと」に対する誇りを高める教育の推進 (アストロ教室の開催)

(2) 観光の振興と交流の拡大

- ① 観光・集客資源の創出・整備 (天文博物館入館者数 18,000人/年)
- ② 観光商品の創造・販売 (あさくち土産開発品数 3個)
- ③ 観光情報提供の仕組み等の構築 (催事・観光展におけるPR実施)
- ④ 市民のおもてなし体制の整備 (浅口よいとこ応援隊員数 15人)

(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

- ① 出会いから結婚までの支援の充実 (縁結びサポーターによる成婚数 10組)
- ② 経済的支援の推進 (不妊・不育治療費助成の実施)
- ③ 妊娠・出産環境の整備と支援の充実 (マタニティクラス参加率 10%)
- ④ 子育て環境の整備と支援の充実 (子育て支援拠点施設の整備)
- ⑤ ワーク・ライフ・バランスの向上と男女共同参画の推進
(「おかやま子育て応援宣言」に登録している企業・事業所数 8社)

(2) 子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上

- ① 落ち着いた学習環境の整備 (小・中学校のエアコン設置台数 206台)
- ② 地域の教育力向上と活用 (夏GAKUサブリ実施公民館数 3館)

(1) 持続的・自立的な地域の形成

- ① 安心・安全な地域機能の確立 (消防本部機庫太陽光発電設備設置)
- ② 地域を担う人材の育成とコミュニティ創生 (協議会型住民自治組織数 3地区)
- ③ 公共施設等の維持管理と長寿命化の推進
(公共施設等総合管理計画の策定)